

# 議会だより

NO.26

 吉野川市



「船窪つつじ公園」「空海の道・平地コース 川島潜水橋」「美郷の茶摘み」 山下 善広（山川町）

## 目次

議案の審議から……………P 2

市民のページ……………P14

代表・一般質問……………P 4

クイズ・市民の皆さんへの募集……………P15

■発行／吉野川市議会  
■住所／〒776-8611  
■TEL.(0883) 22-2241

■編集／議会広報特別委員会  
徳島県吉野川市鴨島町鴨島115番地1  
■FAX.(0883) 22-2242

2011.5.25

## 平成23年3月議会定例会

## 議案の審議から

日程：平成23年2月28日～3月18日

3月定例会では、条例関係案8件、予算案17件、その他8件が提案され、原案どおり可決・承認されました。

## 文教厚生常任委員会

▼吉野川市長寿祝金支給条例の一部を改正する条例制定について

質問 長寿祝金はどのような方法で支給するのか。

福祉総務課長 100歳に到達された方には、市長が訪問して賀状と祝金を直接渡し、それ以外の方には地区の民生委員を通じて渡している。

▼平成23年度吉野川市一般会計予算について

質問 セーフティネット支援対策とはどのような事業か。

福祉総務課長 生活保護適正実施推進事業と住宅生活支援事業を実施している。

質問 主要施策として幼保再編構想策定事業が掲げられている。今後のことを考えての予算計上とされるが、合併から6年が経過し、本市の子育て支援課と保育所の今の体制を見直していくとい

うことなのか。

健康福祉部長 平成23年度に全市的な保育所・幼稚園の再編を調査研究・検討するため予算を計上した。子育て支援課に専任者の配置をし、将来的には保育所機能を強化するために保育課の設置も考えていきたい。

質問 高齢者関連予算に市民の声は反映されているのか。

福祉総務課長 高齢者の生きがいと健康づくりという観点から、老人クラブや社会福祉協議会などを通じて高齢者の多方面の活動を支援している。

質問 土曜保育や延長保育を実施する保育所は増えているのか。

川島東保育所長 平成23年度から新たに鴨島東保育所・鴨島西保育所で延長保育を実施する予定である。

質問 奨学金貸し付けの内容について詳しく。

学校教育課長 継続貸与者が大学生15名、高校生



延長保育を実施予定の鴨島西保育所

1名、新規貸与者として大学生10名、高校生3名の枠を予定している。

質問 臨床心理士・スクールカウンセラーの配置についての予算計上はしているのか。

学校教育課長 来年度、教育委員会内に臨床心理士を配置するということが、月1回程度で年間9回、198万円程度を予定している。

▼平成23年度吉野川市介護保険特別会計予算について

質問 第5期介護保険事業計画について、保険料の見直しや医療費削減対策・計画策定の流れについて詳しく説明を。

介護保険課長 給付費が増加傾向であることから、保険料は実績に基づき慎重に決定し、レセプト点検などにより医療費の適正化に努めていきたい。計画策定については、住民アンケート調査結果を分析したうえで策定委員会に諮っていきたい。◇以上異議なしで可と決定

## 産業建設常任委員会

▼吉野川市企業立地促進  
条例の一部を改正する条  
例制定について

**質問** 条例改正に伴う企業立地促進奨励金については、何年前まで遡って交付するのか。

**商工観光課長** 条例改正の施行日以後に申請のあった事業者に対して適用するものであり、施行日以前の申請に対しては奨励金の交付対象にはならない。

## ▼平成22年度吉野川市一般会計補正予算について

**質問** 農地費の工事請負費の予算が減額されているが、国の予算が付かなかつたのか、それとも事業が遅れて出来なかつたのか。

**農地林業課長** 国の予算の割り当てが付かなかつたため。

**質問** 有害鳥獣捕獲について具体的な数字は。

**産業経済部次長** 平成22年度の現段階での実績で

あるが、猪が53頭・日本鹿が20頭・猿が58頭で、猿については平成21年度実績の2倍を超えている。

## ▼平成23年度吉野川市一般会計予算について

**質問** 農村環境改善センターの施設補修工事で、

7080万円の予算を計上して耐震改修を行うとのことだが、現在は管理人がいないので施設の使用申請のために市役所まで行くようになっており、使用頻度が少なくなっている。予算をかけて改修するなら、市民が利用しやすい体制づくりをする必要があるが。



農村環境改善センター(川島町)

**産業経済部次長** 現在は財政が緊迫しているた

め、管理人を置いていない。申請については、各地域課を通じて農業振興課に書類が届いてから許可を出している状況である。今後、使用する市民の方々にとって利用しやすい方法を検討していきたい。

**質問** 温泉施設を廃止にするというが、概ねの数字ではなく、保養センター上桜と鴨の湯の歳入歳出の経費の内訳を各施設毎に明確に示さないといけない。詳しく説明を。

## 商工観光課長

**保養センター上桜の平成20年度の収入は約1312万円、支出は約2285万円、収支は約973万円の赤字になる。平成21年度の収入は約1317万円、支出は約2110万円、収支は約793万円の赤字となり、平成22年度の収支予測については約1000万円の赤字となる。鴨の湯の平成20年度の収入は約3220万円、支出は約3480万**

円、収支は約260万円の赤字になり、平成21年度の収入は約3110万円、支出は約2930万円、収支は約180万円の黒字である。

## ▼平成23年度吉野川市公共下水道事業特別会計予算について

**質問** 公共下水道の予算額が約9億6000万円に対して繰入金と市債で約7億円という状態であるが、将来的な見通しはどうなのか。

## 下水道課長

**吉野川市の厳しい財政状況において下水道事業への繰出金が一般会計に与える影響が非常に大きいため、中長期的な視点に立って一般会計からの繰出金の抑制を進めていくことが重要であり、整備済みの下水道への接続を推進して収入の確保に努めながら、**

汚水処理適正化構想において地域の特性にあった効率的な汚水処理方法への見直しも検討したい。◇以上異議なしで可と決定

## 総務常任委員会

## ▼平成23年度吉野川市一般会計予算について

**質問** 労働者派遣業務委託料で2494万9000円の内容と負担金補助および交付金でごみ指定袋自治会交付金101万円を計上しているが、この交付金は市内全部の自治会に対する交付金なのか説明を。

**環境センター所長** 労働者派遣業務委託料については、7名分を株式会社フクリエイトと契約し、派遣をうけている。ごみ指定袋自治会交付金については、市内全自治会ではなく山川町自治会については、1自治会あたり1万円、また、山川支所でごみ袋を購入した分の1枚あたり4円が交付金である。

**質問** 以前より山川町自治会だけにごみ袋取扱の交付金がある。当時はごみ袋が統一されたものでなかったとのことでした

が、昨年から統一されたにもかかわらず対応の方は以前のままである。交付金を支出するのであれば、鴨島・川島町の自治会に対しても分別収集の徹底を図ってもらうという名目で報償金を支出してもいいのではないのか。

## 環境センター所長

市内全自治会に対して交付金を支出してはどうかとのことであるが、平成19年に山川町の自治会におじやまして理事会の席上で説明し、廃止をしたい旨を伝えた。その際、理事から自分たちだけでは回答できないので自治会総会に出て説明するよう言われ、その後、自治会総会に出向き廃止の方向で検討していたかどうか、現在に至っている。

**質問** 防災情報通信システム整備について、今後どのように進めていくのか。

**防災対策課長** 本市にお

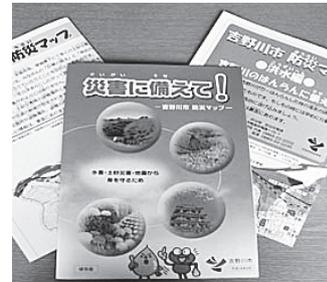
ける防災情報通信網は合併前に旧町村毎に整備された設備を引き続き使用していることから、市内に一括配信ができる設備になっていない。さらに、設備によっては老朽化が進んでいるもの、また、数年後にはN.T.T.のサービスが終了するものなどがあり、新たなシステムを構築する必要がある。

今回の整備検討にかかる委託料で、インターネット放送・MCA無線・エリアトークなどを調査・設計することにより、その機能と構築費用を比較検討しながら本市にとってより良い情報通信システムの構築に努めたい。

**質問** 今回の東日本大震災のような事態が生じた場合を想定し、本市のハザードマップにおける災害対応のヘリポート、避難場所を見直す必要があるのではないか。

また、災害時の避難所

における対応についても再検討を要するのではないか。



市の防災パンフレット

**防災対策課長**

現在、市

内において災害対応用の臨時ヘリポートは地域防災計画の中で、学校施設5か所、公園・運動場などで8か所が適地として指定されているが、一部は台風などの豪雨により浸水し、使用ができないことも想定される。

今後、自主防災会などと協議し、災害時に十分対応できる箇所を検討したい。また、避難所については地域防災計画を見直し、危機管理体制についても万全の体制が図れるよう検討したい。

◇以上異議なしで可と決定

## 代表・一般

### ここが聞きたい

# 質問

3月議会定例会では12名の議員が代表・一般質問を行いました。●の質問を中心に取り上げました。

### 代表質問

① 山下 智 議員

- 安全・安心なまちづくりについて
- 学校再編の取り組みについて
- 幼保連携への取り組みについて
- 温泉施設のあり方について
- 本市の人口減の抑止対策について
- 吉野川市食育推進計画の進捗状況と基本理念について
- ② 後藤田 哲 夫 議員
- 財政基盤の整備と財政健全化の取り組みについて

- 中央広域環境施設組合中央美化センターの今後について
- 温泉4施設のあり方について
- ③ 高木 純 議員
- 防災メールについて
- 市内の国・県の施設の耐震対策について

### 一般質問

- 巡回バス運行事業について
- 耕作放棄地対策事業について
- スポーツ振興について

④ 福岡 正 議員

- ふるさと納税について
- 基金の運用について
- 水害対策と山川・美郷地区の防災対策について

⑤ 岸 田 益 雄 議員

- 幼稚園・小学校・中学校の再編について
- 学校運営協議会制度について
- 学校施設の活用について

⑥ 工藤 俊 夫 議員

- 人権について

- 隣保館の諸事業について、どのように取り組んでいるのか
- 吉野川市人権教育・啓発に関する基本計画の策定について

⑦ 相原 一 永 議員

- 選挙投票体制について
- 国民健康保険事業について
- 福祉行政について

⑧ 栗原 五 男 議員

- 庁舎統合について
- 安全・安心について
- 観光行政について

⑨ 枝澤 幹 太 議員

- 幼保連携の取り組みについて
- 4月から始まる新学習指導要領における小学校高学年の外国語活動について
- 7月からのアナログ放送の廃止について

- 吉野川の堤防やパイロット道路を市民が憩える散策コースにできないか
- ⑩ 川村 洋 樹 議員
- 防災計画について
- 庁舎統合について
- パブリックコメント制度について

⑪ 岡田 光 男 議員

- 高齢者福祉について
- 緊急経済対策について
- 貧困・困窮・保護世帯などについて
- TTP（環太平洋戦略的経済連携協定）について

⑫ 岸田 秀 樹 議員

- インターネットの活用状況について
- 冠水地域の雨水・排水対策について
- 防災について
- ゴミの分別収集について
- 観光事業について

## 代表質問

山下 智 議員  
(薫風会)不妊症に対する助成制度を  
導入しては

(質問)

現状を真摯に受けとめ、  
今後の課題として検討する

(答弁)

◎質問 本市の年間出生数は、300人前後を推移しており、一人の女性が一生のうち産む子どもの数を示す合計特殊出生率は1.3で県内で4番目に低い位置である。これに対して、子どもを安心して産み育てる環境づくりが重要である。なかでも、不妊症で子どもを授けられないつらさや悲しみ、経済的不安は深刻なものである。

◎質問 本市の年間出生数は、300人前後を推移しており、一人の女性が一生のうち産む子どもの数を示す合計特殊出生率は1.3で県内で4番目に低い位置である。これに対して、子どもを安心して産み育てる環境づくりが重要である。なかでも、不妊症で子どもを授けられないつらさや悲しみ、経済的不安は深刻なものである。

◎北川健康福祉部長 不妊症は、1回の妊娠で、全体の15%の方は流産を経験しており、妊婦の加齢とともにその割合は高まるといわれている。不妊症の診断・治療には科学的根拠に基づいた医療の確立と実践が重要であり、経済的負担も多く、少子高齢化に差し迫った問題である。

◎再々問 本県には、不妊治療の経済的負担の軽減を図るため、医療保険が適用されず、高額な医療費がかかる不妊治療に  
対して、費用の一部を助成している。本市独自の  
実施が困難であるなら、  
県事業の不妊治療助成制  
度の対象者の中に、不  
妊症の患者が含まれるよ  
う、市の実態を把握し、  
県に積極的に働きかける  
よう要望する。

◎質問 中央美化センターの解体工事が平成24年度から平成25年度へ先送りされたのはなぜか。また、粗大ごみ・破砕ごみについて、今後2市2町が独自に行うとのことだが、本市としての対応は。

◎重清環境局長 平成22年2月に開催された組合議会定例会で提示された、中央美化センター解体計画案では、平成24

成制度について検討できないか。

◎再問 全国の自治体において、市町村レベルで先進的取り組み、事業化している状況がある。不妊症の検査・治療は、今後も保険適用になる見込みは低く、当事者や家族は多額な負担を強いられる状況にある。子どもをもうけたいと思う夫婦があきらめる状況にならないよう、少子化対策の一環として、経済的支援の考えは。

## 担当者会議で十分協議したい

(答弁)

中央広域環境施設組合中央美化  
センターの解体と跡地利用は

(質問)

後藤田 哲 夫 議員  
(麻植会)

療費がかかる不妊治療に  
対して、費用の一部を助  
成している。本市独自の  
実施が困難であるなら、  
県事業の不妊治療助成制  
度の対象者の中に、不  
妊症の患者が含まれるよ  
う、市の実態を把握し、  
県に積極的に働きかける  
よう要望する。

◎質問 中央美化センターの解体工事が平成24年度から平成25年度へ先送りされたのはなぜか。また、粗大ごみ・破砕ごみについて、今後2市2町が独自に行うとのことだが、本市としての対応は。

◎重清環境局長 平成22年2月に開催された組合議会定例会で提示された、中央美化センター解体計画案では、平成24

度に解体することが盛り込まれ計画案通り実施できるよう各市町の副市長、副町長および関係部課長による幹事会並びに、担当者会において十分協議していきたい。

粗大ごみ・破碎ごみについては、既存リサイクルセンターの統合により、処理の効率化が図られると思われるので、用地および環境影響調査など検討し、取り組みたい。

中央広域環境施設組合で中央美化センターの解体に解体することが盛り込まれ計画案通り実施できるよう各市町の副市長、副町長および関係部課長による幹事会並びに、担当者会において十分協議していきたい。

24年度に解体できるように努力すべきだ。

○河野副市長 解体撤去に向けて、精一杯交渉を続けていきたいと考えている。

解体後の跡地利用は。

○産業経済部長 現在のところ跡地利用については、具体的に考えていない。

### 【その他の質問】

◎質問 中央美化センターが1万8014平米、保養センター上桜が1万3289平米ある。

◎質問 財政基盤と財政健全化について。

○総務部長 今後においても財政健全化への取り組みを着実に進めたい。



高木 純 議員  
(日本共産党)

### 防災メールの登録を進めるために 市内携帯ショップに協力依頼を

(質問)

### 携帯ショップとの提携など 検討したい

(答弁)

◎質問 緊急地震速報などが瞬時に市民に伝わるJ-ALERT通信システムを本市でも導入することであるが、市の

防災メール登録者があまりにも少ない。防災メールの登録は携帯電話を使いこなしていないとできないため、登

録が進んでいないと考え

そこで提案だが、市内にある携帯ショップに協力を依頼して、店に訪れる市民に登録のお手伝いをしていただければ登録者が確実に増加すると思われる。市からも正式に協力を要請してはどうか。

また、防災メールについては少なくともテストメールなど定期的に送るべきと考えるがどうか。

○瀬尾防災局長 現在防災メールへの登録者は少なく、情報伝達手段としては充分ではない状況である。

今後において、より多くの市民に登録をしていただくよう機能充実をさ

せ、携帯ショップとの提携などあらゆる機会を通じて防災局として推進したい。

また、テストメールの配信について検討したい。

### 【その他の質問】

◎質問 市内にある国・県の施設耐震対策は。

○防災局長 国土交通省管理の学島川、徳島県管理の岩屋谷川の排水機場も耐震基準を満たしていない。また吉野川警察署についても耐震化は図られていない。

今後、国・県が管理する各施設について本市として災害時においても機能が達成されるよう要望したい。



解体予定の中央美化センター(川島町)

◎再問 工程表通り平成

跡地利用については、有効活用が図れるよう、中央広域環境施設組合の幹事会および担当者会議で十分協議していきたい。

平成22年度末の財政調整基金の残高は、2億6300万円であり、解体費について、早急に結論を出したい。

現在の進捗は、基金残高と必要経費を算出し、検討を行っている。

平成22年度末の財政調整基金の残高は、2億6300万円であり、解体費について、早急に結論を出したい。

現在の進捗は、基金残高と必要経費を算出し、検討を行っている。



J-ALERT通信システム

# 一般質問



福岡 正 議員

## 徳島中央広域連合西消防署の整備計画について

(質問)

## 徳島中央広域連合や阿波市と協議していく

(答弁)



徳島中央広域連合西消防署(山川町)

ている。  
西消防署についても改築の必要性は十分認識している。徳島中央広域連合や構成自治体である阿波市と協議していきたい。

### 「その他の質問」

◎質問 本市の台風時における水害対策は。

◎建設部長 市管理河川の土砂の取り除きはほぼ完了している。

飯尾川の改修促進、ほたる川の排水機場の早期設置と上流域への河道掘削などについて、国や県に要望している。

◎質問 ふるさと納税の現状と、今後の取り組みは。

◎総務部長 平成20・21年度は890万円余り、平成22年度は350万円の寄付が寄せられている。今後も広報に努めるとともに県人会や各種イベ

ントで積極的に幅広く周知していく。

◎質問 ※基金の運用状況と、今後の方針については。

◎会計管理者 吉野川市公金管理・資金運用方針に基づき、今後ともペイオフ対策も考慮し確実に有利な方法による運用に努めていく。

※基金とは  
地方公共団体が特定の目的のため、財産を維持し、資金を積み立て、または定額の資金を運用するために、条例を定めて設置されるものをいいます。  
吉野川市における基金の数と積立額は、平成23年3月で12基金・72億5357万5030円です。



岸田 益雄 議員

## 休校中の学校施設の活用について

(質問)

## 地域の声を尊重し有効利用を図り、地域活性化につなげたい

(答弁)

◎質問 1984年に休校となった川田山小学校は、2009年に廃校となり、昨年8月に取り壊された。美郷地区の中村郷中学校は2009年度

◎質問 西消防署は昭和46年に建設され、基礎コンクリートなど各所にクラックが発生するなど、老朽化が進んでいる。敷地は吉野川南岸堤防上で盛り土であるため、大地震が発生した際には崩壊の危険性がある。また、近年の消防業務は多様化しており、今の施設では手狭になっている。

西消防署は、本市の山川・美郷地区と阿波市阿波町を管轄区域としており、約3万人の生命や財産を守る重要な施設である。

る。

西消防署の施設整備は急を要すると思われるが、計画から建設に至るまでには、建設場所の選定など関係機関との調整に相当の期間を要すると考えられる。

西消防署は、財源的に有利な合併特例債が活用できる間に整備すべきであり、そのためには早急に準備に取りかかる必要があると思うが、どのように考えているのか。

◎瀬尾防災局長 西消防

署は車両の大型化や人員の増加に伴い、かなり手狭になっている。  
大規模な災害が発生した場合、消防車両や消防署員の安全確保にも不安があり、安全・安心なまちづくりの拠点となる消防機能が麻痺すれば、市民の負託にもこたえられないことが予想されるため、早期の対策が求められている。

現在、徳島中央広域連合では消防本部並びに東消防庁舎の建設を進め、来年4月の開設を見込ん

◎総務部長 平成20・21年度は890万円余り、平成22年度は350万円の寄付が寄せられている。今

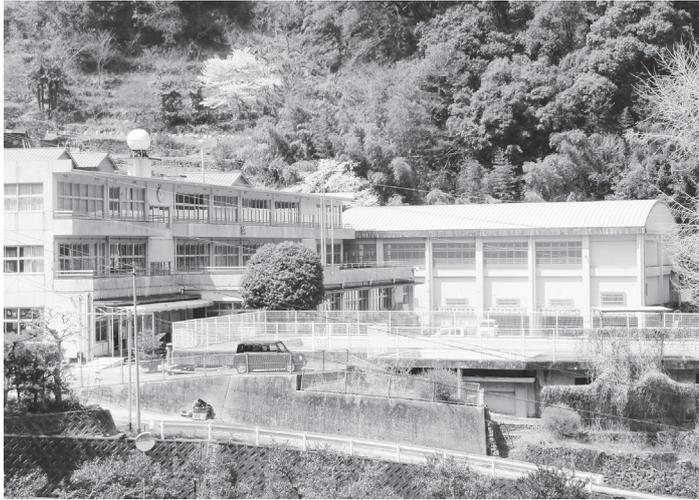
後も広報に努めるとともに県人会や各種イベ

◎質問 1984年に休校となった川田山小学校

は、2009年に廃校となり、昨年8月に取り壊された。美郷地区の中村郷中学校は2009年度

小学校は1990年に、東山小学校は2001

年に、中枝小学校は2007年に、そして美郷中学校は2009年度



休校中の中枝小学校(美郷)

未だ休校となっている。現在、廃校に出来ないのは、校舎が耐用年数に達していないのに廃校にすると、建設時に受け取った国の補助金を、残った年数に応じて返還する必要があったためだ。徳島県では公立小中学校合わせて65校が休校中である。そして、そのほとんどの学校施設が利用されずに放置されているが、一部の学校は行政や

地域が上手に活用している。

1999年に小学校の統廃合で廃校となった勝浦町の坂本小学校は「農村体験宿泊施設『ふれあいの里 さかもと』」として活用し、上勝町の福原小学校も「ターナー・Uターン者向け公営住宅・上勝町営複合住宅」として活用し地域の活性化に一役かっている。全国的に見ても廃校施

設を、オフィスや工場、児童・高齢者の福祉施設、アート創造拠点などの文化施設、体験学習施設や宿泊施設、専門学校などの教育施設、特産品販売・加工施設など、その地域に合わせた利用方法を考えて活用している。本市では休校中の学校の活用方法、そして維持管理をどのように考えているのか。

現在、休校中の施設は将来的に教育施設として利用する可能性が低いことから、施設の管理を含め有効活用について検討をしていきたい。

◎再問 今後、幼・小・中学校の再編に伴い、統廃合は避けて通れない問題だ。その際、休校や廃校となった学校を活用する時、子ども達や保護者も含めた地域住民の意見を最優先するべきでないか。

域活性化につながるような活用方法を検討していきたい。

### 「その他の質問」

◎質問 幼・小・中学校の再編計画に保護者や地域住民の意見をどのような形で取り入れるのか。

◎教育次長 アンケート調査の実施や地域での意

見交換会を開催し、保護者や地域の皆さんの意見を聞きながら計画を進めていく。

◎質問 学校運営協議会制度の導入予定は。

◎教育次長 現在、学校評議員制度を導入しているので今後、研究し慎重に検討する。



工藤 俊夫 議員

## 人権教育・啓発に関する基本計画の策定は

(質問)

## 基本計画原案作成協議を経て市長に答申する

(答弁)

◎山口教育次長 休校施設の管理状況は、建物の警備および消防設備点検業務を委託契約により専門業者に、除草作業などの休校管理は地元の方にお願いしている。施設の活用状況は、中村小学校を除く3校は選挙時の投票所や災害時には避難所として活用することとなっている。また、各施設のグラウンドはゲートボール場やグラウンドゴルフ場として地域の老人会などに解放している。

◎大杉教育次長 休校施設の有効活用については、できる限り地域の声を尊重し、地元の方に有効に使っていただきたいと考えており、地域の活性化や遊休施設の有効利用を図るといった観点から、市の関係部局と連携・協議を行いながら検討する。また、学校再編に伴い、休校や廃校となる施設の活用についても、今後「吉野川市学校再編計画」を策定する中で、地

◎質問 平成14年に人権教育・啓発に関する基本計画が策定されるなど、国も本腰を入れた取り組みがなされた。徳島県も、知事を本部

長とした徳島県人権教育のための国連10年推進本部を設置し、本県の実情に合った人権教育・啓発の推進を具現化するため平成16年2月に徳島県人

権教育推進方針に基づきすべての人々の基本的人権が真に尊重される社会づくりをめざしていくこととの方向性を示した。

そこで本市としての行動計画に基づく基本計画の進捗状況は。

次に現行の部落差別撤廃・人権擁護条例の見直しはどのようにするのか。さらに実りある計画にするためには、人権尊重のまち宣言をすべきと考えるが。

○玉井市民部長 昨年1

年間をかけ県外2市・県内2市の調査研究を行いながら、市人権施策推進本部を設置した。5月に市民のアンケート調査を実施してその意識内容を取りまとめ基本計画策定審議委員会へ提出。審査・協議を経て、平成23年度中に市長に答申を行いたい。

現行の部落差別撤廃・人権擁護条例の見直しや人権尊重のまち宣言につ



小学校での人権劇発表会

いても、平成23年度に人権教育・啓発に関する基本計画の策定後、ただちに現在の条例も見直す。

人権条例の改正案を審議委員会に諮り、その答申を受けて、廃止・新たな人権条例の制定に向けて取り組む。

人権尊重のまち宣言は、人権条例が制定されたとき、その条例制定施行日を記念とするよう、

### 【その他の質問】

◎質問 隣保館の諸事業について、どのように取り組んでいるのか。

○市民部長 調査・相談事業、啓発および広報活動、教育講座・地域交流事業および学習会活動に取り組んでいる。



相原 一 永 議員

ジェネリック医薬品変更お願いカードを配布してはどうか

(質問)

新しい保険証と一緒に送付するようにしている

(答弁)

◎質問 国民健康保険事業の健全化を図るための取り組みは。

機関の紹介なく変更し重複受診すると、その都度初診料がかかり、被保険者の負担もふえる。検査

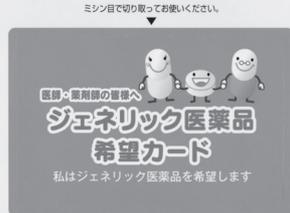
○玉井市民部長 特定健康

診査60%・特定保健指導40%達成をめざす。人間ドックでは本年600人が受診できるよう予算を計上している。

薬代が半額以下になるジェネリック医薬品の啓発により市民の間で浸透すれば医療費の削減が期待出来るので、ジェネリック医薬品希望カードと啓発パンフレットを送付し広く市民に浸透するようにしたい。また医療

お薬選びに参加する時代です!

ジェネリック医薬品  
希望カードを  
ご利用ください



徳島県後期高齢者医療広域連合

や処置を繰り返すと体への影響や負担もふえ、そのためかかりつけ医を選んでもらい、必要な場合はかかりつけ医より病気に応じた適切な医療機関を紹介してもらおうよう、広報を通じ積極的に啓発に努める。また、医療費の請求が適正に行われているか国保連合会で審査したレセプトを本市において独自の資格要件および請求内容について再点検を実施しレセプト点検の強化を図っている。

### 【その他の質問】

◎質問 期日前投票所を川島庁舎で出来ないか。

○市民部長 期日前投票所は1か所9人体制で行っており、経費、人員配置、管理執行確保などの問題が生じる。全体の効率性を考慮しながら慎重に検討していく。

◎質問 指定病院などで行われる不在者投票の不

正防止の対策は。

○市民部長 県選挙管理委員会と相談しながら対応は考えたい。

玉投票未遂事件などの問題があり宣誓書の事前送付については、慎重にならざるを得ない。

◎質問 投票入場券の裏面を活用して期日前投票の宣誓書を印刷できないか。

◎質問 難聴者に対する耳マークカードを配布しては。

○市民部長 過去に替えたい。

○健康福祉部長 著作権の問題もあるので検討したい。



柴原五男議員

### 防災公園を建設する計画は

(質問)

### 関係部署と協議していきたい

(答弁)

◎質問 市民の福祉向上、健康増進、また憩いの場として大変重要な温泉施設を運営上、財政面などを考えて売却または廃止ということだが、上

桜温泉の跡地を普段は公園として、市民の憩いの場、運動の場として活用し、いざという時は避難場所、防災公園として使用すれば、市民も納得す



耐震化が終わった中学校

るのではないかと。また、本市の小・中学校および公民館の耐震化の現状は。

伴う災害から身体を保護する施設として必要であると考えている。今後、関係部署と協議をしていきたい。

○瀬尾防災局長 防災公園は、大規模地震や火災発生時における避難場所や災害対応の活動拠点として活用し、災害から身を守る場所となっております。平時時はスポーツ運動場や多目的広場として使用されている。防災目的に整備される大規模な公園だけでなく、身近な広場や公園なども災害時の利活用に重要性が高まっており、地震などに

○山口教育次長 平成22年度現在の耐震化率は、小学校75%、中学校88%である。残る上浦小学校ほか5校10棟は平成24年度に改修工事を完了する計画である。

### 【その他の質問】

◎質問 増築される庁舎の基本方針は。また統合することにより市民サービスは低下しないのか。

◎質問 本年4月から始まる新学習指導要領における小学校5・6年生の

外国語(英語)活動は、今、全国で多くの小学校が前倒しで英語を授業に

○総務部理事 増築棟は、だれにも優しい市民のための庁舎、防災のシボルとなる安心・安全、地球環境に優しい次世代型エコ庁舎、ライフサイクルコストに配慮した経済的な庁舎を設計のコンセプトにしている。また庁舎統合により市民の利便性の向上、迅速な意思決定が図られることにより行政効率の向上も期待できる。

◎質問 8月に閉園される吉野川遊園地をどうするのか。また、観光客をふやす対策は。

○産業経済部長 吉野川遊園地から本市に対して相談、提案などがあれば前向きに検討する。市内各所で行われている観光イベントなどでは年間約48万人が訪れている。今後、客層などの分析をして増加につながる取り組みをしていく。



枝澤幹太議員

### 小学校高学年の外国語活動への体制は

(質問)

### 各校で担当者やALTを配置し対応していく

(答弁)



小学校での外国語授業風景

取り入れている。英語に直面する子ども達の戸惑いはもちろんだが、※ALITや※外国語活動支援講師が授業をともにしても、教員が不慣れたため授業に対して不安を抱いている、5・6年生の担任になりたがらないなど、いろいろなケースが、考えられるが教育委員会としての対応は。

また、英語教育の推進に積極的に取り組んでいる先進地事例では、英語科として教科に位置付け

られ、小学校3・4年生で年間20時間、5・6年生では年間35時間、英語を正規の授業とし通知表に評価されている。中学校でも年間105時間から140時間に拡充している。英語に対しての苦手意識は、低学年からの外国語への取り組み方法で払しょくできるのではないかと考えられるが。

○貞野教育次長 平成23年度より必修化される外国語活動に向け、各校で1名外国語活動担当者を選任し平成21年度より年間35時間の授業を実施、また、全ての教職員が外国語活動を担当できる

よう研修を計画し、2年間で30時間実施し取り組んできた。外国人指導助手として教育委員会内で内に4名配置し、担任と協力しながら外国語活動を進めている。県教育委員会からは3名の日本人※外国語活動支援講師が配置され授業の進め方、

教材、資料の作り方など指導をおおいでいる。

一方、他市では小学校1年生から6年生まですべての学年で行っている所や英語指導主事を配置している所もあるが、本市では、外国語活動の研究員を配置し、教職員の研修会や授業力、意識の向上を図ってきた。今後は中学校の英語教師による小学校での授業や地域の教育力を活用し、英語の得意な一般人を外国語講師に招くことも検討していきたいと考えている。

### 【その他の質問】

◎質問 7月からのアナログ放送廃止後、デジタル放送が受信できない市民はいないのか。

○総務部長 地デジ難視聴対策衛星放送対象リスト地区は全額国の負担で受信環境を整える。経済的理由により受信できない世帯については、地デジ

チューナー・アンテナは全額国の負担により配付される。市としては高齢者世帯を中心に戸別訪問などで説明し、円滑な移行に努める。

※ALIT  
ALITとは、(Assistant Language Teacher)の略で、外国語を母国語とする外国語指導助手をいいます。



川村 洋樹 議員

※外国語活動支援講師 学級担任やALITと協力し、外国語活動の授業を支援する講師。授業を円滑かつ効果的に実施するための助言・提案をし、授業の反省や分析・評価・学習指導に関する情報提供を行う。

## 庁舎統合に伴う、交通渋滞対策および市民サービスの向上について

(質問)

## 交通渋滞対策・市民サービスの向上について検討する

(答弁)

◎質問 庁舎統合に伴い、市役所に職員が集中することにより県道西麻植下浦線の交通渋滞が予測されるが、飯尾敷地小学校の通学路でもあり危

険ではとの指摘もある。交通渋滞解消策として職員の通勤体制にフレックスタイム制を導入できないか。また、庁舎統合による

メリットとして、諸課題に迅速な対応が可能になると考えるが、部局横断的な対応ができるマニュアル作りは可能か。

○河野総務部理事 庁舎統合により、通勤職員数の増加による周辺道路の交通量の増加は予想されるが、出入口の分散、東西からの進入路を設けるなどの対策を行い渋滞回避を図る。また県道板野川島線の知恵島―桑村間の開通、市道本郷春日免線の整備計画など、周辺道路の交通対策も進み、国道の交通量も緩和されると考えている。市職員の通勤経路が、1か所に集中しないよう検討する。またフレックスタイム制の導入については、窓口職員が減るなどの課題があり、導入については、市民サービスの向上と効率的な行政運営などの検証を行い、その有効性について研究していく。



朝の通学風景

また、部局横断的な対応をするマニュアルづくりは、職員が幅広い視野と斬新かつ縦割りではなく、横割りの柔軟な発想を持ち、積極的に行動できる職員の育成をめざし、平成23年度より自主研究グループ活動に対する支援と、職員がみずから考え提案できる職員提案制度の施行を検討する。

◎再問 現在でも狭い路地を通勤している職員について、危険との指摘もあるが是正できないか。また、庁舎統合に伴い市民サービスの向上に向けた市長の考えは。

○川真田市長 職員の通勤に関しては、自転車通勤などの対策をしていく。庁舎統合後の市民サービスのあり方は、大

変重要と感じており、充実した市民サービスを提供するために、部局配置の検討とともに、市役所に来られた方々の案内や、手続きをサポートするフロアマネージャーを設けるなどの検討をする。

### 【その他の質問】

◎質問 水道施設の耐震化費用は、一般会計から繰り入れを行うべきでは。

○総務部長 災害対策など必要性には総務省から示される繰り出し基準に基づき、一般会計から繰り出しを行う。

◎質問 パブリックコメントをいただいた方々に、個別に返事を含めた対応を行うべきでは。

○総務部長 個別に回答は行わない。



岡田光男 議員

## 特別養護老人ホームなど介護施設の整備を急げ

(質問)

## 第5期計画の中で検討したい

(答弁)

◎質問 高齢化とともに介護の実態が深刻になっている。老老介護、認知介護という状況もふえ、介護を苦にした悲惨な事件や高齢者の孤独死なども後を絶たない。

早急に特別養護老人ホームやグループホームなどの介護施設の整備をしなければ10年20年先には多くの介護難民が出てくると考えるが。



グループホームの花見会

○大塚福祉事務所長 介護施設の待機状況は、特別養護老人ホームで133名、介護老人保健施設で11名、グループホームでは38名の待機者となっている。各施設の整備計画については、市民へのアンケートなどを参考に、第5期計画の中で検討したい。

◎再問 団塊の世代が高齢となる、平成37年には65歳以上の人が40%にもなると言われている。家にはいるのは介護を必要とする人ばかりになる事も考えられる。一刻も早く手当が必要であると考え、どのような調査を行うのか。

○大塚福祉事務所長 65歳以上の一般高齢者1000名と要支援、要介護者、40歳以上の方1000名、合計2000名の人数で計画策定に向けてアンケートをとって

いきたい。

◎再々問 高齢化が進み支える家族が少なくなるという状況の中、介護施設の整備は避けられないと考えるが。

◎川真田市長 介護施設は、これから先も必要であると十分感じている。

### 【その他の質問】

◎質問 景気対策としての住宅リフォーム助成制度は。

◎市長 吉野川市小規模工事等受注希望者登録制度を有効に活用したい。

◎質問 市役所の窓口で多重債務を発見できる体制づくりは。

◎総務部次長 部局の連携を深める工夫をしながら対応していきたい。

◎質問 TPP参加に伴う件つき賛成の本市の考え

は。

◎市長 打撃を受ける農業への振興策なども示さ



岸田 秀樹 議員

れてない状況では容認できるものではないと認識している。

## 市民の安全に対する防災情報伝達システムは

(質問)

## 2月に防災情報通信システム構築のための検討チームを組んだ

(答弁)

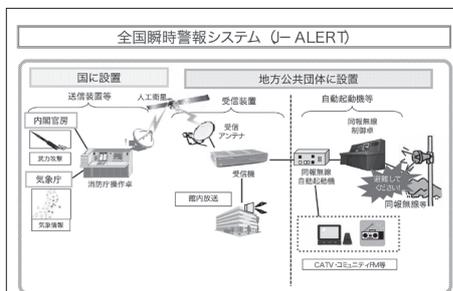
◎質問 防災情報伝達について以前より指摘しているが、特に鴨島町には何も設備がない状態で今

までのメール配信にしても平成20年6月からの防災メール導入開始以後、現在の加入者は市民の16%。このような状況で

今回、市長所信表明で国において有事関連情報や緊急地震速報などを迅速に防災機関へ伝達する全国瞬時警報システム(J-ALERT)を本市においても設置が完了したとの報告がなされたが、市民に伝達するた

全国瞬時警報システムでの情報をメールで伝達することができるとか。あまりにも市民に対して、市としての危機管理体制の取り組みがお粗末ではないのか。

また、災害時における緊急避難に伴う救助体



### こんな情報を発信しています

- 緊急地震速報
- 津波警報・津波注意報
- 大雨・洪水警報などの気象情報
- 噴火警報・予報
- 指定河川洪水予報
- 記録的短期時間大雨情報
- 竜巻注意情報
- 航空攻撃情報
- ゲリラ・特殊部隊攻撃情報
- 大規模テロ情報
- 震度速報
- 土砂災害警戒情報
- 弾道ミサイル情報

制、本県では海上自衛隊あるいは県防災のヘリコプターによる救助活動に必要なヘリポートについて、以前から防災ハザードマップの見直しの必要性を指摘しているが、本

増加のための努力をしていく。

◎瀬尾防災局長 全国瞬時警報システムを導入したことにより平成23年度から国から配信される緊急地震速報、気象情報、有事関連情報などを遅滞なく市民の皆様へ伝えるために新たなメール配信システムにかかる予算を要求するとともに従前の

その他の情報伝達システムについては、既存のあらゆる情報伝達システムの活用、新規の伝達システムについては、調査研究しながら本市にとってよりよい通信システムの構築に努めていきたい。

◎建設部長 飯尾川は改修工事も進み、あと15kmで麻名用水堰までできて

◎水道部長 鴨島雨水3号幹線は暫定浸水軽減対策基本計画を策定した。続いて暫定下水道事業として県と協議の上、認可

災害対応の緊急ヘリポートについては、市の防災計画の中では8か所指定しているが、この中で豪雨により浸水して使用できない所もある。今後には災害時などに決に向けて積極的に取り組んでいきたい。

がおりしだい事業を行う。

組んでいきたい。

の機能を確保できるように自主防災会などの皆様と協議しながら災害対応の臨時ヘリポートとしての指定を検討していきたい。新たな防災情報として防災マップに反映していきたい。

### 【その他の質問】

◎質問 冠水地域である鴨島雨水3号幹線および飯尾川の雨水排水対策

# 市民のページ

## 日本は素晴らしい国

川島町 白川 美智代

直接の被害はなかった私ですが、3月11日のあの震災は、色々と考えさせられることがありました。

私は、子どもたちの住む藤沢市と、この吉野川市とに住居を持ち、行き来していますが、その当日は、藤沢市のマンション6階で地震に出くわしました。かなりの揺れでしたが、停電、断水、食料不足などの不便はあったものの、津波の被害もなく、大したことはありませんでした。

映像は、そんな地獄絵図ばかりではありません。被災地の避難民の方たちの、耐えて生き抜こうとする懸命な姿が、私の胸に、何か温かいものを落としてくれました。犠牲になられた方がたくさんいる中で、紙一重で命だけは助かったという思いが、人間を謙虚にしているのでしょうか、彼らの口から出る言葉は、「ありがたい」という感謝の言葉ばかり。残された者同士が、助け合い、力と知恵を出し合っ

て「頑張ろう」とスクラムを組む美しすぎるような避難民の姿は、胸にしみ込んでいきました。停電の不便さや、スーパリーの空っぽ状態は、今まで当たり前だった生活の有難さを教えてくれました。

温かい春風が吹く季節となりました。共に頑張ろうと叫ぶ国民の意識が、みごとな再生を成し遂げることと信じています。

感謝の言葉ばかり。残された者同士が、助け合い、力と知恵を出し合っ

## いのちを守る

山川町 原田 親光

TPPという言葉が農村を駆け巡っている。敗戦後にシラミ駆除とDDTが子どもの髪にかけられた。英語は敵国語として習うことを勧めなかった。そして、PTAは民主主義教育の育成会として大いに活動した。だが、食糧関税に絡むTPPは

国の農業の盛衰にかかわるグローバル問題であり難解だ。国家戦略をどの政権も叫ぶ。国民のいのちを守る食糧自給率の施策は明らかでない。有事の食糧危機は瞬時に起こる。国内の生産は減少し、輸入は阻止国民の飢餓を招く。だが、経済不況時は農村は雇用救済の受皿であ

あった。景気が回復すれば元へ戻った。それで、いのちはそれを保たれた。今はそうはいかぬが。路傍に庚申待の名残りの青石の青面金剛を見。手に剣を持ち片手にけん縄、小さい三戸を遂げりする。江戸時代、村は10軒ぐらい農家の集まりで農作について夜通し打ち合わせた。眠ると身中三戸が天帝に罪を訴え。そのためそれを怒りに人材を育成するべきの形相でいるのだ。農業は結合の思想であり祭祀で連帯した。農業は文化であり災害を防止する。「本当に強い農業」と食糧保障は切り離せない。就業人口減少と高齢化加速の日本の食糧生産基盤は弱体化されている。

## 親切な美しい心の職員

鴨島町 藤井 茂明

去る3月1日(火)午前9時過ぎの出来事で、私は鴨島町飯尾新橋から呉郷団地へ通じる県道との交差点西側で、知人

と雑談をしていた。

ふと道路の東側に目をやると、自転車にゴミ袋を積んで所定の集積所へと向かう高齢の女性が、信号が赤となり青信号に変わるのを待っていた。それと同時に県道を東から進む市役所清掃車が赤信号で停止した。

すると助手席から職員が降車し、女性と一言話をするなり女性の自転車からゴミ袋を素速く降ろし、清掃車に積み込み右折し北に向かった。

清掃車は所定の場所から収集するのが本来であるが、信号待ちのわずかな時間に市民に優しい心配りのできる親切な職員の姿を見た。

市役所全職員の鏡と言っても多言ではあるまい。

私は早速帰宅し、市民生活課へ報告した。

ほんとうに晴れ晴れした平成23年3月1日であった。

## クイズ

### 議会三択クイズ

- 問題1 吉野川市議会議員の人数は？  
① 22名 ② 20名 ③ 18名
- 問題2 吉野川市議会の会派は全部で？  
① 5会派 ② 9会派 ③ 7会派
- 問題3 市議会の代表である議長はどうやって選ぶの？  
① 住民が選挙する  
② 議員のなかで選挙する  
③ 市長が指名する

◎正解者の中から抽選で10名様に記念品を進呈します。

◎応募要領／はがき、またはファックスに答えと住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、議会事務局へお送りください。

応募の際に「チョットひと言」添えてみませんか？次号で紹介いたします。

◎送り先／〒776-8611 吉野川市鴨島町鴨島115番地1

TEL(0883)22-2241 FAX(0883)22-2242

◎締め切り日／平成23年7月8日(消印有効)

### チョットひと言

☆川島町山田は乗り物に不便な地域です。巡回バスが通れば病院通いや買い物に助かる人が多いと思います。(川島町 亀井さま)

☆マラソン、駅伝が大好きな私は、リュックを背負って「東京、京都、大阪、広島」と応援に出かけています。今月の徳島駅伝の表紙はうれしかったですね。若者のパワーをいっぱいいうけて元気をもらっています。感謝！(鴨島町 井上さま)

☆表紙の写真より徳島駅伝お疲れさまです。来年も皆さんの力強い走りを期待しています。(山川町 中村さま)

◎(前回の回答)

第1問 千客万来、第2問 千変万化、第3問 千秋万歳【応募総数】58通

## 本会議・委員会の傍聴をしませんか



皆さんが選んだ議員の活動や行政が今、どのようなことを行っているかを知っていただくために、本会議などの議会の傍聴をしませんか。

どなたでも傍聴できます。お気軽にお越しください。

TEL 22-2241

## 市民の皆さんの声を掲載

市政についての苦言やアイデア、趣味や人生観など多岐に渡って文章を募集します。ファックスでも結構です。

：規定：

●400字詰原稿用紙2枚以内

住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記

●締め切り

平成23年7月8日(消印有効)

\*投稿多数で掲載できない場合は、ご容赦ください。校正などは、吉野川市議会広報特別委員会で行います。

：あて先：

〒776-8611

吉野川市鴨島町鴨島115番地1

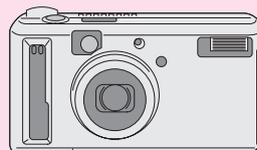
TEL(0883)22-2241

FAX(0883)22-2242

## 募 集 要 項

- テーマ** 吉野川市で撮影した季節の風景や祭り，行事など。
- 規定** モノクロおよびカラープリント2L判～四切・W四切組写真も可（3点まで）住所・氏名・電話番号・題名を明記。
- 締め切り** 平成23年8月1日（消印有効）  
発行は8月です。季節感のあるものをお願いします。
- その他** 作品の返却は行いません。採用された作品の使用およびトリミングなど加工については，吉野川市議会広報特別委員会に帰属することをご了承ください。
- 応募先** 〒776-8611 吉野川市鴨島町鴨島115番地1  
TEL (0883) 22-2241  
FAX (0883) 22-2242

募 集



## 表紙の写真

## 東日本大震災

東京電力福島第一原子力発電所事故の収束が未だにめどが立たない中、4月22日には半径20km圏内が立ち入り禁止となる。テレビでは牧場の飼い主が、馬に餌をあげに行くことができなくなると、道という道は全部封鎖され、こういう事になるのであれば馬を放しておけば良かったと、無念そうに語る。道路には解きはなされた飼い犬が、つながれている犬もやせこけている。

朝、家を出て夜、家に帰っていた当たり前の生活がこの日を境に一変する。なれない避難所での不自由な生活、震災後1か月経っても1日をおにぎり3個とパン1個とい

あ と が き



う避難所もあるという。暖かい布団で寝ることも出来ないかと思うと本当に胸が痛む。

そんな中、24日付の新聞の『天声人語』には今年の政党交付金の、初回分80億円が国から支払われたという短信が各紙に出たと。そこには、被災者に尽くすべき者が炊き出しに並んでいるようである違和感を覚えるところがある。

政党助成金の申請は、今月初めと言うから、有名人などがこぞって救援のための募金をし、子ども達も含む多くの国民も街頭や店頭などで、何回も救援募金をしている時期だ。

全国民が一丸となって被災者救援・復興に取り組んでいるとき、国民一人あたり250円の政党助成

金を、被災者からもらっている。

こんなことで良いのだろうか。

岡田 光男



姫リンゴ

このたびの東日本大震災により被災された皆様および関係者の方々にたいし、心からお見舞い申し上げます。

被害に遭われた地域の日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

吉野川市議会

## ● 会議録をご覧ください ●

議会だよりに掲載された事柄以外の質問や答弁の内容を吉野川市のホームページ内に掲載していますので、ぜひ一度ご覧ください。

吉野川市議会会議録

検索

